

# 令和5年度 学校評価

■ そう思う   
 ■ どちらかといえば、そう思う   
 ■ どちらかといえば、そう思わない   
 ■ そう思わない   
 ■ わからない

## ①いのちを大切にす心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

考察○保護者、児童ともに全ての項目で肯定的な回答が8割を超えている。一人一人の児童生徒の尊重に関しては、教職員は10割が肯定的な回答だったため、今後も取り組みを継続していきたい。一方で、「そう思わない」「わからない」といった回答が2割程度見られることから、原因を分析し今後さらに児童一人一人を大切にされた指導や対応を行ってきたい。

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していますか。

考察○子どもが自ら学びとる授業を実践していくことで、学ぶ楽しさやわかる喜びを感じることができるであろう。その中で、ICTを活用していくようにする必要性がうまれると考えられる。そのような意識を校内研修を通して共通認識していきたい。

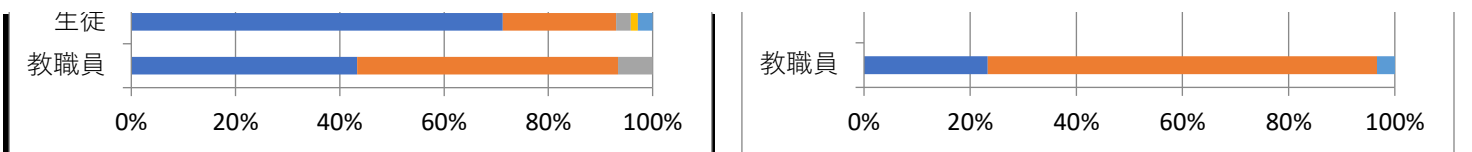
## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。

考察  
 ○全体的に支援が必要な子どもの教育についての取り組みや相互理解へのつながりに対し、肯定的な意見が多い。保護者の中に「わからない」と答えた割合が高いので、取り組みの啓発の必要性を感じる。

## ④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

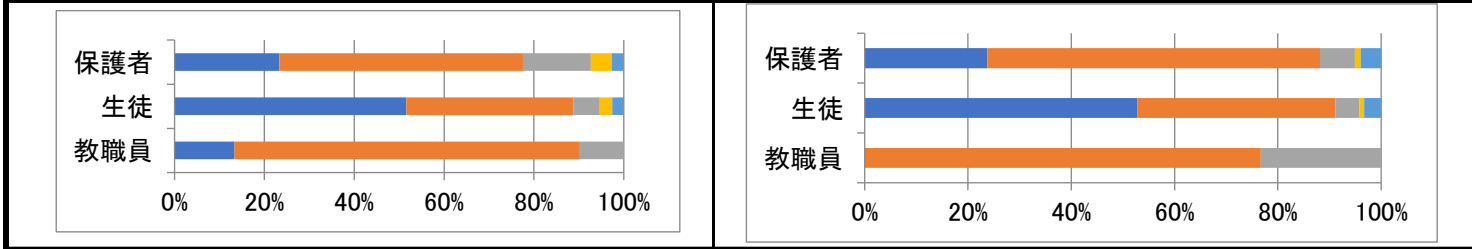
7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



考察○安全と事故防止では、児童、教職員は肯定的評価が9割であったが、保護者では8割ほどである。また家庭や地域との連携協力については、教職員の肯定的評価が9割以上だったのに対し、保護者では8割に満たない結果であった。今後は、安全教育の更なる充実と家庭・地域との連携をより密にしていく必要がある。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

9 学校独自1	10 学校独自2
子どもは進んで明るいあいさつができていますか。	子どもは、学校のきまりをまもり、安全に生活することができますか。



考察○明るい挨拶については、9割近くの児童が肯定的な回答をしている。教職員の評価でも、昨年度に比べて上がっている。これは「挨拶を返す」「自分から挨拶をする」という取組が充実してきた結果だと思われる。安全に生活することについても、児童、教職員ともに評価は高い。一方で、保護者からの評価は、児童、教職員に比べて低くなっている。今後も登校の仕方や、マナーについて、地域と連携を図りながら指導を工夫していく必要がある。

来年度の具体的な取組について

- 道徳科の授業や心の教育の充実を図る活動を学校、保護者、地域で連携しながら進めていく。また親子道徳や心かがやけ月間の取り組みなど、学校だより等を通して保護者に発信し、啓発を図っていく。
- 研究主任を中心に、本年度の成果と課題、本校児童の課題を分析し、職員全体で児童につけたい力について共通理解を図る。その上で、校内研修を通し、授業力向上を目指していく。
- 特別支援教育の充実に向けて、教育委員会からのリーフレットの活用や学校便り、学級懇談会等を通して、保護者や地域に啓発を図る。
- 登下校時の安全指導や休み時間のケガの防止など、子どもたちの安全に対する意識が向上する取組の充実を図る。また月1回の安全点検を複数の職員で行うなど、安全な校内環境に努める。
- 月1回の登校班での話し合いや委員会活動を通して、学校全体で挨拶が活性化する取組を進めていく。また保護者や地域の方と連携を図りながら、挨拶を含めた登校の仕方やマナーについて、指導を継続していく。

学校関係者評価

- 学校だけではなく、地域でも挨拶する児童が増えてきた。
- 授業がわかる、楽しいと答えた児童が多く、先生方が児童の興味・関心を高めるような授業に取り組まれていることがわかった。
- 登下校の仕方、地域での過ごし方など、安全な生活を意識できるような取り組みを継続していく必要がある。
- 小中連携を中心とした地域学習を進めていくことで、より地域の大人と接する機会をつくり、地域を大切に育てていきたい。